

自主避難「本人の責任」

今村復興相「裁判でもやれば」

今村雅弘復興相は4日午前の閣議後会見で、東京電力福島第一原発事故で今も帰れない自主避難者について「本人の責任でしょう。」

(不服なら)裁判でも何でもやればいいじゃないかと発言した。質問した記者には「出て行きなさい」などととして質問を打ち切った。同日夕、記者団に「感情的になったのはおわびする」と釈明したが、自主避難者への発言は「私は客観的に言ったつもりだ」と撤

回しなかった。

自主避難者は、国の避難指示を受けなかった地域から、被曝を心配し速方に避難した母子ら。福島県によると、昨年10月時点で全国に約3万人おり、国と県は避難先での住宅の無償提供を3月末で打ち切った。強制避難者に比べて東電の賠償や国の支援が薄く、福島県民の「分断」につながる指摘されてきた。

閣議後会見で今村氏は、自主避難者の支援に国の責

任がないか問われ「福島県が対応し、国は県のサポートする。この図式でこれからはもやっていく」と説明。帰れないのは自己責任と思うかとの質問には「基本的にはそうだ。国はできるだけのことはやった」とした。さらに質問しようとした記者に「何で無責任だと言うんだ。無礼だ。もう二度と(会見に)来ないで下さい」と机をたたき、「うるさい」と会見を打ち切った。

(大月規義)